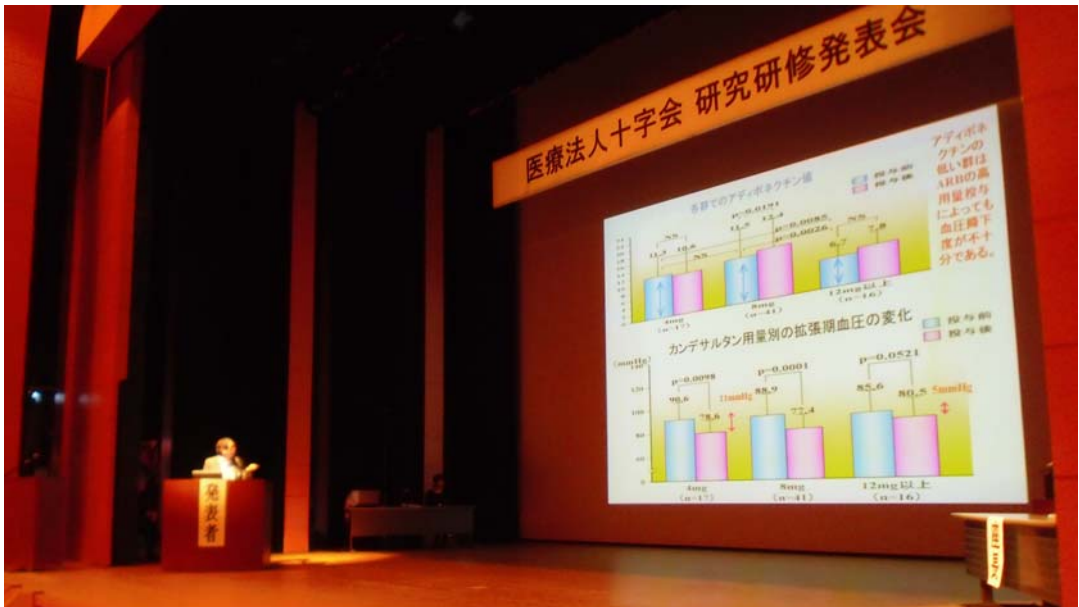




基本方針

- (1) 急性期医療を中心に、信頼される高度医療を目指します。
- (2) 救急告示病院の使命を認識し、更なる救急医療の充実向上に努めます。
- (3) チーム医療を推進して、急性期から慢性期、在宅医療までの一貫した医療、看護、介護サービスを提供します。
- (4) 予防医学の充実と健康教育に力を注ぎ、地域の皆さまの心身の健康管理を支えます。
- (5) 地域の病院、診療所、諸施設、公的機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
- (6) 患者さまの意志を尊重し、十分納得していただける医療、看護、介護に努めます。
- (7) 全職員は常に最新の医療、看護、介護の研鑽に努めます。

第7回十字会研究研修発表会



宮崎内科部長による発表

十字会研究研修 発表会を終えて

理事長・総院長
野島 丈夫



本年も去る10月31日(土) 宍戸委員長のもと、第7回十字会研究研修発表会が開催されました。

本発表会は、病院部門・老健部門が一堂に会して日常の研究成果、業務の紹介、業務改善などを発表し、理解し、質疑応答を繰り返すことで意志疎通も図られ、職員同志が成果を共有し修得していく機会と考えています。

本年は、第一部から第四部まで計12演題が発表されました。各部門が切磋琢磨して築き上げた機能的で活力あるチーム医療と心温まるチームケアこそが、地域から信頼される「よい病院」「よい施設」となる大きな原動力になるものと確信しています。

何ものにもとられない柔軟な発想と前向きな行動力、同時に何事も新鮮に捉えることのできる豊かな感性と他人を思いやることのできる優しい心、大きな包容力の大切さを感じています。

日常業務の成果を発表し、それを聴く職員皆さんに刺激を与えられるような意義ある内容と活発な質疑を期待しつつ、このような発表会を自己実現の場として捉え、各人が夢と感動を実現できる十字会でありたいと念願しております。

財団法人 日本医療機能評価機構認定病院 認定第JC413号 一般病院

医療法人十字会

野島病院	TEL: (0858) 22-6231	FAX: (0858) 22-6843	指定居宅介護支援事業所のじま	TEL: (0858) 22-6231	FAX: (0858) 23-7122
介護老人保健施設のじま	TEL: (0858) 23-7100	FAX: (0858) 23-7101	明倫・小鴨地域包括支援センター	TEL: (0858) 23-7106	FAX: (0858) 23-7122
デイケアセンターのじま	TEL: (0858) 23-8005	FAX: (0858) 23-8006	倉吉市障害者地域生活支援センター	TEL: (0858) 22-6239	FAX: (0858) 23-7122
訪問看護ステーションのじま	TEL: (0858) 23-7104	FAX: (0858) 23-7122	はっぴい		
訪問介護ステーションのじま	TEL: (0858) 23-7107	FAX: (0858) 23-7122	すくすく園(病後児保育)	TEL: (0858) 22-6231	

研究研修発表会 風景

日時：2009年10月31日(土)9時～12時30分
場所：倉吉未来中心 小ホール

プログラム

第1部 【座長：山本 院長】

- 1) 降圧不十分におけるアディポネクチンの動態とその臨床的意義：鳥取県ICARE研究
医局 宮崎 聡
- 2) 院外処方箋の疑義照会の現状と対策
薬剤科 遠藤 詔子
- 3) 当院におけるヘリコバクター・ピロリ菌除去除去開始から8年経過して
臨床検査科 福田 恭二
- 4) 作業療法紹介
リハビリテーション科 中原 恵子

第2部 【座長：宍戸 診療統括部長】

- 1) 院内暴力被害の現状
安全対策委員会 松本 立子
- 2) 環境清掃の重要性と現状
感染対策委員会 米原 由美子
- 3) よりよい糖尿病食事指導(支援)を目指して
栄養管理室 山田 美穂

第3部 【座長：羽田 看護部長】

- 1) DPCと診療報酬について
医事課 村川 毅
- 2) クリティカルパス委員会の活動と今後の取り組み
クリティカルパス委員会 野儀 操香
- 3) 夜間救急センターの現状による看護師のストレスの実態
～夜間救急センター看護師へのアンケートから見たこと～
3階病棟看護師 阿久津 翠

第4部 【座長：神波 施設長】

- 1) 居宅介護支援事業所のじまの紹介
～介護報酬改定と今後のケアマネジメントの展開について～
居宅介護支援事業所のじま 坂本 隆司
- 2) デイケアセンターのじまの紹介
老人保健介護施設のじま 鷲根 貴志



宍戸委員長

栄養管理室 管理栄養士 山田 美穂

この度「よりよい糖尿病食事支援を目指して」と題して発表いたしました。発表の機会を得て、日頃の栄養指導業務を振り返るよい機会になりました。

発表では、医師・看護師をはじめとした他職種との連携が取れたことで、継続した支援ができたと感じる症例を紹介しましたが、それがうまくお伝えできなかったようで少し残念に思っています。今後も更に他職種との関わりを大切に、患者様お一人お一人に合った食事支援をしていけるよう頑張っていきたいと思います。貴重な体験をさせていただき



ありがとうございました。また、この発表をするにあたり、内科医師、看護師、薬剤師等のご協力に本当に感謝しています。

リハビリテーション科 作業療法士 中原 恵子

今回、リハビリテーション科を代表して「作業療法紹介」を発表いたしました。

今以上に円滑に業務を行うためにも、作業療法をより知っていただきたいと思い発表に至りました。

発表内容＝当院においてADL能力の比較・検討を行ったところ、作業療法を実施したほうが、在宅復帰率・BI変化点(*)共に高くなる結果が得られた。その理由としては、作業療法は作業分析(作業を分析し適応・決定・効果判定に役立てる事)を行い、適切な作業(日常のみならず生活関連動作まで)を提供しているからという事が考えられる。

この発表により、他職種の方の作業療法に対する理解が以前よりも深まったのではないかと考えます。

また、他の発表者の発表を聞くことで他職種の取り組み等も知ることができ、良い機会となりました。今回は作業療法紹介でしたが、次回は、研究発表ができるよう、日々の業務に取り組んでいきたいと思ひます。

* BI 変化点：Barthel Index変化点
(身の回りのことがどれだけ自分でできるか数値化したもの)

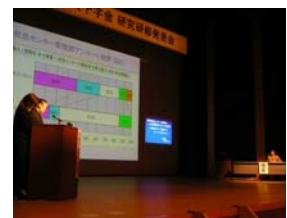
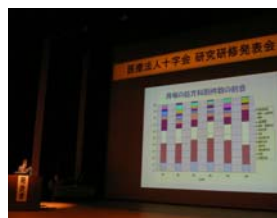
発表会に参加して

放射線科 放射線技師 池田 将樹

今年4月に野島病院に入り、初めて発表会に参加させていただきました。

自分には難しい内容もありましたが、積極的に質問もでていて、活発に意見交換ができていたと感じました。中には勤務で感じている問題点などの話もあり、普段はなかなかわからない他の部門の方の悩みや苦勞などを知ることができました。時間に限りがあり、発表会の時間内で解決できる問題ばかりではなかったですが、これをきっかけに改善策をみつけていくことができると思いました。

自分も野島病院のスタッフの一人としてよりよい病院にしていけるために少しでも貢献しなければと改めて感じました。



診療科紹介

野島病院は、総合病院として幅広く専門的な診療を行っています。今号は、各診療科の先生方にご協力いただき、全診療科の紹介を企画致しました。

脳神経外科

野島病院脳神経外科は35年の歴史があり、病院の主要な臨床科目のひとつです。

鳥取県中部の救急病院として、特に脳出血、くも膜下出血の血管障害や頭部外傷などを受け入れ、24時間の手術体制をとっています。新たに鳥大から中島先生を迎えて更にパワーアップをし、脳神経外科専門医3名を含む4名により治療に当たっております。

外来は月曜日から金曜日まで毎日、特に月・木は診察室を二診立で、隔週の脊椎外来では赤塚先生にお世話になっています。

手術室で行う通常手術以外、血管造影室での血管内手術(脳動脈瘤のコイル塞栓術、頸動脈狭窄に対するステント拡張術など)の症例も数多くあげています。

また、脳梗塞については、発症してから3時間以内での血栓溶解療法(t-PA)という治療を行っています。



野島 丈夫 先生
(総院長)



穴戸 尚 先生
(部長)



竹内 啓九 先生
(部長)



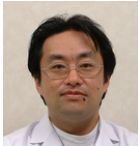
中島 定男 先生

赤塚 啓一 先生
(鳥大)

整形外科

整形外科は身体の芯になる骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉やそれらを支配する神経系からなる運動器の機能的改善を重要視して治療する外科です。

スポーツ傷害や交通外傷、労働災害などの外傷学は勿論のこと、変形性変化を伴う加齢疾患、骨粗鬆症、関節リウマチ、痛風、運動器の腫瘍、先天異常など小児から老年まで幅広い患者層を扱います。



中島 匡敏 先生
(部長)



名島 将浩 先生
(医長)

萩野 浩 先生
(鳥大)

透析

慢性透析を中心に行っていますが、脳卒中、多重外傷、薬物中毒etcによる、急性腎不全にたいしても、緊急透析を行っています。院内透析責任医師は、山本敏雄院長で、非常勤医師との協力体制をとっています。

非常勤医師

外科・肛門科・消化器(外科)

消化器外科として食道から肛門までかつ途中の肝、胆、膵、脾臓の病気を含め手術中心に診療を行っています。胆石はもとより胃、大腸手術に積極的に傷を小さくし、早期回復、痛み軽減がはかれる腹腔鏡下手術を導入しています。癌の化学療法、疼痛治療、緩和療法を引き受けています。

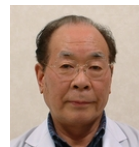
外科の範疇には消化器外科以外の鼠径・大腿ヘルニア、乳腺疾患、甲状腺疾患および外傷等が入ります。乳癌では乳房温存手術が行われ、ヘルニアに関しては緊張フリーのメッシュ法が主流です。

肛門科としては痔、直腸脱、裂肛、痔瘻などの良性疾患、肛門癌、肛門に近い直腸癌などの悪性疾患も診療の範疇に入ります。痔疾には注射によるジオン硬化療法、PPH療法など痛みが少なく患者負担の少ない治療が第一選択です。

なるべく人工肛門をつけない自然肛門温存手術を行っています。



山本 敏雄 先生
(院長)



神波 澄幸 先生
(施設長)



牧野 正人 先生
(部長)



宇奈手 一司 先生
(部長)

消化器(内科)

消化器内科では、外科との連携のもと、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸及び肝・胆・膵疾患を扱います。

最近には特に、早期胃癌に対して浸襲の少ない内視鏡治療(ESDやEMR)に力を入れています。

この他に消化管出血に対する内視鏡止血術、食道静脈瘤に対する内視鏡治療を行います。

肝疾患では、肝炎・肝硬変・肝癌の診断・治療を行っています。ウイルス性肝炎にはインターフェロンの投与、肝癌に対しての内科的治療(PEIT、RFA、TACEなど)を担当しています。胆膵疾患では胆嚢炎や膵炎の治療のほか、総胆管結石や胆道系の悪性腫瘍に対する様々な内視鏡的治療方法があり実践しています。



三村 憲一 先生
(医長)



萬 憲彰 先生
(医長)

楠本 智章 先生
(鳥大)

泌尿器科

夜中に何回もトイレに行って困っていませんか？おしっこが急になくなって間に合わない、くしゃみ・せきをして尿が漏れてしまうことが何か恥ずかしくて病院へ行けない、どうぞこんな方は泌尿器科を受診してください。別に特別な検査をしたりはしません。尿漏れが良くなったら心身とも若返りますよ。50歳を超えた男性は、一度前立腺癌のチェックをしましょう。採血検査でできます。早期発見が可能です。

井上 明道 先生(非常勤) 松本 真由子 先生(鳥大) 非常勤医師

内科

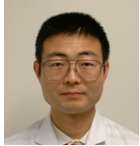
内科では、負荷心電図や心臓カテーテルによる虚血性心疾患の診断・治療、各種不整脈の診断、心臓ペースメーカー治療を含めた不整脈治療などの循環器内科、呼吸器内科(肺ガンの精密検診なども)、糖尿病、腎臓病、免疫疾患、アレルギー疾患、また温泉療法医による温泉治療指導などの専門的な治療を行っています。

内科系外来は受付の裏側、少しわかりにくい所です。

各種専門科への窓口となる一般内科診察を行うと共に、循環器、糖尿病専門外来を持ち、呼吸器疾患などにも幅広く対応し、外来インスリン導入やフットケア、禁煙指導、栄養管理士による栄養指導なども行っています。



宮崎 聡 先生
(部長)



石村 昌彦 先生
(部長)



石村 唯彦 先生
(参与)

三村 憲一 先生(医長) 萬 憲彰 先生(医長)

池田 匡 先生(鳥大) 井川 修 先生(鳥大) 古瀬 祥之 先生(鳥大)
宮本 佐知子 先生(鳥大) 山本 玲 先生(鳥大) 石田 勝則 先生(鳥大)

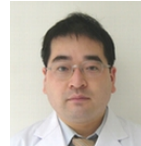
神経内科

脳梗塞、頭痛、めまい、てんかん、認知症、脳炎・髄膜炎等の感染症、パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症等の変性疾患、筋無力症、末梢神経・筋疾患などをCT・MRI・頸動脈エコー等の画像診断や脳波等の電気生理検査を用いて、精度の高い専門的な診断と治療、およびリハビリテーションを行っています。

とくに、脳梗塞では発症3時間以内の患者様に限られますが、t-PAという強力な血栓溶解剤の静脈注射治療が可能です。



下田 学 先生
(部長)



三宅 正大 先生
(医長)

安井 建一 先生
(鳥大)

精神科・心療内科

当科は総合病院の精神科としての特徴を生かした活動をしています。

不安障害、うつ病、不眠症などストレス関連障害の患者様にとって敷居の低い外来部門を目指しています。入院治療が必要な場合は、精神科専門病棟はありませんので、一般病棟で対応します。精神症状と身体症状を合併する患者様は、他の専門科と連携して治療を行います。



熊谷 哲夫 先生
(部長)

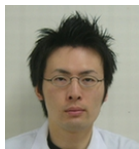
眼科

松浦一貴、寺坂祐樹医師2名の眼科専門医による原則2診体制で診療しています。

松浦医師は、白内障及び緑内障の専門とし大学病院を始めとする若手医師の手術教育に当たっています。寺坂医師は、角膜疾患、感染症の分野で日本有数の名医と知られる鳥取大学井上幸次教授に師事し、最新の治療及び研究に精通しています。昨年の手術件数は約600例でした。



松浦 一貴 先生
(部長)



寺坂 祐樹 先生

耳鼻咽喉科

野島病院の耳鼻咽喉科外来は、鳥取大学からの派遣医師が担当しています。診療対象疾患は、中耳炎、扁桃炎、副鼻腔炎(ちくのう)、鼻アレルギー(花粉症)などのアレルギー、炎症性疾患などが多く、他にも、難聴、めまい、嚥下障害、睡眠時無呼吸、顔面神経麻痺なども扱っています。さらに総合病院外来の重要な役割として、頭頸部の悪性腫瘍の早期発見、治療後経過観察があり、他の診療機関とも連携し診察に当たっています。

長谷川 賢作 先生(鳥大) 樋上 茂 先生(鳥大) 河本 勝之 先生(鳥大)

健診部(人間ドック・各種健診)

当院健診部では、生活習慣病予防健診や特定健診も実施しています。ドックは「運転免許更新型」からの脱却を目指し、分かり易い言葉を使った丁寧な説明を心がけています。

腹部検査に使うエコー(超音波)は、メタボ腹には比較的「弱い」ので、お腹の脂肪を「造影剤代わり」に使う腹部CTも当院ドックの特徴です。



細田 庸夫 先生
(健診センター長)

神波 澄幸 先生
(施設長)

形成外科

形成外科は、熱傷、体表の先天的な異常、顔面の骨折や重症外傷、傷が治った後の形成手術、皮膚の良性腫瘍、乳がん、頭頸部がんなど体表に関わるがん切除後の再建術、褥瘡や治りにくい慢性の傷や潰瘍、加齢に伴う眼瞼の異常(眼瞼皮膚弛緩症や眼瞼下垂症)、顔面神経麻痺による顔面変形などの治療を行います。当院では局所麻酔手術を中心に年間100件以上を行っています。全身麻酔が必要な疾患では、他科の協力や鳥大病院形成外科と連携して治療しています。

上記の疾患でお悩みの方は、月曜日あるいは水曜日の午前中に外来を行っていますので、ご相談ください。

中山 敏 先生(鳥大) 陶山 淑子 先生(鳥大)

病院機能評価Ver. 6訪問審査に向けて

事務次長 滝澤 和嘉

6月2日に受審申込をしてから早や半年が経過し、まもなく訪問審査日を迎えます。各部署ともに最終の詰め段階だと思えます。

当日は、これまでの努力が実を結ぶように、万全の体制でサーベイヤの皆様をお迎えしたいと思います。

訪問審査で大事なことは

- ①書類審査＝領域の中項目ごとに分かりやすく並べる（中味はもちろん分かりやすく整理されていること）
 - ②領域別面談＝質問に的確に回答する（そのためには想定問答で練習しておく）
 - ③部署別訪問＝整理整頓（清潔）されている、質問に的確に回答する、部署で当日の回答者を決めておく など
- 病院機能評価受審は労力とコストがかかります。しかし受審することによって以下のように野島病院の前進が図られます。

- ・当院の位置づけを客観的に把握でき、改善すべき目標がより具体的・現実的なものとなる
- ・評価機構のもつ広い視点・情報により、具体的な改善方策の相談・助言を受けることができる
- ・地域の方、患者さま、連携しようとする他の医療機関に、保証された情報が提供できる
- ・職員の自覚と意欲の一層の向上と、経営の効率化が推進される
- ・患者さまが更に安心して受診できる病院となり、信頼性を高めることができる



面談リハーサル

この度のVer. 6 ではチーム医療の推進と医療安全に基づいた診療の質の向上をポイントとしています。

これはまさに野島病院の目指すところ。受審するからには認定されなければなりません、究極の目的は良い病院となることです。“良い病院”にするために頑張りましょう。そして美酒を・・・。



安全キャビネットでの抗がん剤調製

安全キャビネット(抗がん剤調製用装置)設置 薬剤調製室を新館1階に新設しました

薬剤科 係長 斎尾 裕紀

いままで、抗がん剤調製時に発生してしまう霧化した抗がん剤を吸い込み被曝する危険性がありました。

今回、安全キャビネットの導入により霧化した抗がん剤の外部への流出を防止し、調製者の安全を確保し無菌的調整に準じると共に患者さま及びスタッフにも安全な調製が出来るようになりました。

敷地内禁煙スタート

“たばこ”の身体に与える影響は広く知られています。当法人では、喫煙による悪影響を絶つため、敷地内禁煙にふみきました。職員はもとより、治療中の患者さまにもご理解いただき、敷地内禁煙に努力しましょう。

YES I can! とキッパリ言えないものの Mr.オバマも禁煙スタートとか。。。



懐かしい喫煙テント、社交の場でもあった ……煙もテントも青空へ吸い込まれて行きました

Mimosa ミモザ な空間

～今回は『理事長車の物語』でミモザな空間を過ごして下さい～

満18歳になろうとするセルシオ君。心地よくしっとりとしたシートは、重量あるタケオ君が長年どっかり座っていたためふにやふにやに柔らかくなってしまった。

ここ数年故障が絶えず、いつぞやは出先で動かなくなり修理のため代車に乗って帰って来たタケオ君。休日でも無く土・日の会合にセルシオ運転での遠出は、不安感を引き連れて行きます。数年来、レクサス君を迎えたくてもずっと我慢していたタケオ君にニュースが届きました。環境に配慮したハイブリッドレクサス(レクサスHS250h)誕生のニュースが7月中旬テレビで流れたのです。

“ゆったり乗りたいヨ(お腹廻りのふくよかさのため)セルシオ君のように大きなレクサスがいいナ”と言っていたタケオ君ですが、このセンセーショナルなニュースに幾らか心が動いたのか、病院スタッフの奨めでひとまずこのカジュアルなレクサスに試乗しました。

何と！メカに弱いと思われていたタケオ君が“まるでコックピットで操縦しているようにメカニック？だよ”とニコニコ顔で降りて来ました。

・・・余談ではありますが、医学生時代のタケオ君は山岳ラリー自動車部で活躍・・・

“少し年取ってのカジュアルはお洒落、自分の運転を助けてくれる車が良いデス”との言葉に、すっかりその気になりました。温室効果ガス25%削減に協力、価格もスマート。

一日も早く、と安心感レクサス君を待ち望んでいるタケオ君です。

理事長の想いより幾分小振りだけど、今や世界は“Small is beautiful”の時代。そう、小さい事は美しい。

私も Small is beautiful と言われてみたい～～ Noji

登場人物 タケオ君 : 理事長 野島 丈夫
セルシオ君 : 現理事長車 セルシオ
レクサス君 : 次期理事長車 レクサス HS 250 h

(HSは Harmonious Sedan という開発テーマの頭文字で、環境との調和・人との調和をめざしている)



遊びリテーションのすすめ！！

リハビリテーション科
レクリエーションワーカー 藤原 光代

『遊びリテーション』が始まり、早や19年。
総院長がリハビリへの動機付けにとカラオケ導入を勧められたことがきっかけとなり現在に至っています。当初はカラオケ



毛糸を編んでめいぐるみを作りました



カラオケでストレス解消〜^o^／

だけでしたが、現在ではいろいろな内容を取り入れて活動しています。“誰でも簡単に出来る”がモットーです。活動を通してストレス解消・気分転換・寝たきり防止を目的とし、他の患者さまとのコミュニケーションを図ることにより心の開放及び脳の活性化を促しています。“遊び”と“リハビリ”をくっつけて『遊びリテーション』、楽しみながらリハビリができますよ！！病室に向向くことがあります。気軽に声をかけてください。

定期開催
毎月第1・第2・第3・第4木曜日
個人支援
リハビリ室より随時行っています

回復期リハビリテーション病棟 (7F病棟) 大運動会

7階病棟看護主任
小川 清美



まずは準備体操

待ちに待った回復期リハビリテーション病棟の大運動会が10月22日に行われました。

リハビリスタッフと話し合って種目を決めたり、会場の飾りつけにも職員も大奮闘でした。患者さまも朝から楽しみに落ちて着かない様子で「私は何に出る？」と張り切っておられました。

Aチーム、Bチームに分かれ、玉入れ競争・ボウリング・ひも引っ張り競争を行いました。最後は全員で「北国の春」の曲にのせて踊り、楽しい運動会でした。はちまき姿ではりきっておられる方、我先にと手を挙げる方、照れながらボールを投げる方・・・と普段見ることのない一面を見せていただきました。



ボウリングでストライクを決めたのは・・・



玉入れ競争
何個入ってる？



勝ちました！バンザ〜イ



勝利のメダルです



野島賞
おめでとうございます

外来診療担当表

(午前) ◆診療時間◆ 午前9時から正午まで

(平成21年11月1日現在)

診療科	月	火	水	木	金	土	日
脳神経外科	野島 (総院長)	宍戸	中島定	宍戸	野島 (総院長)		
	竹内			竹内			
外科・肛門科	山本 (院長)	牧野	牧野	山本 (院長)	宇奈手		
整形外科	中島匡	名島	中島匡	萩野	名島		
消化器科初診当番	山本 (院長)	三村	牧野	萬	宇奈手		
内科	一診	宮崎	石村唯	宮崎	石村唯	宮崎	休診
	二診	萬	三村	石村昌	萬	三村	
	三診	石村昌	井川 宮本	山本玲	池田	古瀬 石田	
神経内科	下田	安井	三宅	下田	三宅		
精神科・心療内科	熊谷	熊谷	熊谷	熊谷	熊谷		
泌尿器科	松本	---	---	---	井上		
透析	---	透析医師 交代診療	---	---	透析医師 交代診療		
眼科	寺坂	松浦 寺坂	松浦 寺坂	松浦	松浦 寺坂		
耳鼻咽喉科	鳥大医師	---	鳥大医師	---	鳥大医師		
形成外科	中山	---	陶山	---	---		
人間ドック	細田	細田	細田	細田	神波		
脳ドック	中島定	下田	宍戸	三宅	竹内		

(注) 眼科の午後の診察は、紹介の方と予約の方を中心に診察させていただきます

(午後) ◆診療時間◆ 午後2時から午後5時まで

診療科	月	火	水	木	金	土	日
総合外来	萬 三宅	石村昌 下田 宮崎	野島 (総院長)	鳥大医師 (外科)	神波		
眼科	寺坂	松浦 寺坂	鳥大医師 (予約のみ)	松浦 (手術日)	松浦 寺坂		休診
泌尿器科	---	---	泌尿器科医師 交代診療	---	---		
透析	---	---	透析医師 交代診療	透析医師 交代診療	---		

◆受付時間◆

午前8時30分から午後4時まで

◆休診日◆

土曜日、日曜日、祝日、祭日、
お盆(8月14, 15日)、
年末年始(12月31日, 1月1, 2, 3日)

編集後記

『赤ひげ』復帰第2号ができました。今回は盛りだくさんの内容で、6ページ瀟洒版となりました。特に、病院紹介では各診療科の先生の写真を掲載しましたので、いままでも以上に野島病院を身近な存在として感じていただけるのではないのでしょうか。

編集委員長 中條

発行所：

〒682-0863

鳥取県倉吉市瀬崎町2714-1

ホームページURL：

<http://www.nojima-hospital.or.jp>

代表E-mail：

info@nojima-hospital.or.jp

地域医療連携室専用E-mail：

renkei@nojima-hospital.or.jp